

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年9月11日 NO.39



オー君 「あれあれ？4年生が北門（きたもん）のところでお花を見てるよ。」

モンタ博士「そうだよ。ここには、いろいろなお花がいっぱいあるよ。」

花ちゃん 「大きな実（み）のカリンがあるし、それに、マツヨイグサもさいているし、ムクゲも白いお花をいっぱいさかせているわ。」

オー君 「そうだ。ムクゲの花は校長室前にもあったし、しっかりと観察（かんさつ）しよう。まず、花の色は白でまん中だけ、ちょっと赤いぞ。こりゃちょっとおしゃれな花だ。それから、葉っぱは少しざらざらする感じだな。」

モンタ博士「そうだね。よく観察しているね。それでは、花の中をのぞいてごらん。めしべやおしべはどうなっているのかな。」

オー君 「めしべの先はちょっとふくらんでいるな。それから、おしべは何だかブラシ

みたいだよ。」

花ちゃん 「その通りね。花の中にブラシがあるみたいでおもしろい形ですね。オクラの花ににているわね。」

モンタ博士 「沖縄（おきなわ）など南の国にさく、ハイビスカスというお花も同じ仲間（なかま）なんだ。みんな同じような形の花なんだ。それから、一日花（いちにちばな）と言ってね、次の日にはかれてしまうのもとくちょうなんだ。」



オー君 「ずうっとさいていれば、いいのに。」

モンタ博士 「そうじゃないんだな。かれるところに意味（いみ）があるのさ。ところで、二人に虫メガネをかけてあげるから、葉っぱのよーく見てごらん。」

花ちゃん 「虫メガネで太陽を見てはいけないんですね。オー君。いっしょに見よう。」

オー君 「おいらがさきに見ていいの。花ちゃんはやさしいな。あ！ぎょ！なんだ？しゅりけんか？十の字か？星かな？」

花ちゃん 「何を言っているの。そんなのあるわけじゃないの・・・。あ！ぎょ！星の形してるわ。おもしろーい！。おどろきでーす。」

モンタ博士 「二人ともよく見つけたね。ムクゲという植物の毛なんだ。星の形をしているので、星状毛（せいじょうもう）というのさ。」

オー君 「け、け、け、けて、毛（け）なの？」

モンタ博士 「ふつう、毛と言うとね、まっすぐだったり、ちょっとちじれていたり、太い毛とか細い毛とあるけど・・・。植物にいろいろな形をした毛があるんだ。」

